

---

# 岐阜県立岐阜北高等学校

校長 鈴木 健  
学校住所 岐阜市則武清水 1841-11 電話 058-231-6628

---

1 会議の名称 岐阜県立岐阜北高等学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委員 安藤 和子 元PTA副会長  
岡田 忍 同窓会顧問  
小林 月子 岐阜大学名誉教授（ご欠席）  
鈴木 雅雄 弁護士  
高橋 進 則武自治連合会顧問  
(委員名は五十音順)

学校側 鈴木 健 校長  
東田 啓一朗 PTA会長  
宇佐美 理恵子 事務部長  
池田 哲也 教頭  
中嶋 成人 教頭  
河合 恵哉 教務主任  
笠井 寛 進路指導部長  
近藤 潤一 生徒指導部  
堀内 雅彦 特別活動部  
高橋 淳 保健厚生部長  
日比野 彰朗 カリキュラムデザイン部長

3 会議の目的 学校運営等について、地域住民代表や関係機関等代表および企業関係者等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」「活力ある学校づくり」「規律ある学校づくり」を推進する。

4 会議の開催 令和3年1月12日(火) 14:00～15:25 岐阜北高等学校(校長室)  
委員4人と学校側11人が出席

5 会議の概要 (1) 開式 (14:00～14:10)  
・ 学校長挨拶  
(2) 授業参観 (14:10～14:30)  
(3) 協議 (14:30～15:20)  
・ 生徒及び保護者対象アンケート結果について  
・ 自己評価について  
・ 岐阜北高等学校スクールポリシーについて  
(4) 次年度の学校運営協議会について (15:20～15:25)

## (1) 授業参観のご感想等

- 意見1 黒板がホワイトボードになり、プロジェクターが設置されるなど、教室の雰囲気が変わった。
- 意見2 ICT機器を活用しており、授業テンポが速く感じた。
- 意見3 新型コロナ感染症の影響で仕方ないと思うが、生徒に活気がないように感じた。
- 意見4 感染予防のため換気の必要があり、暖房の効果を心配したが、適切に温度調節がされていた。

## (2) 生徒及び保護者対象アンケート結果及び自己評価について

- 意見1 4月、5月の一斉休業により、成績が一時的に下がったとの説明があったが、再受験生と比較して、現役生は有利か、もしくは不利か。
- 学 校 今年度は入試制度が変わるということで再受験生の数が少なく、そういう点ではやや有利と思われる。また、学校での様子も落ち着いて取り組んでいるので大丈夫だと感じている。一方、共通テストの傾向が分からず不安な点もある。国公立大学の個別試験については再受験生が有利かもしれない。
- 意見2 新型コロナ感染症の予防によく取り組んでいると思う。今後もぜひともお願いしたい。地域人材の協力も得られている。
- 学 校 地域の方に補助職員として、7時から9時まで生徒登校時の手指消毒等を手伝ってもらっている。大変ありがたく感謝している。
- 意見3 制服の見直しは行っているのか。
- 学 校 制服については生徒会を中心に見直しをしてほしいという要望があるので、意見を聞きながら検討していきたい。LGBTについても配慮していく必要がある。
- 意見4 ぜひ、LGBTにも配慮してほしい。
- 意見5 一時ブラック校則という言葉がはやったが、特に頭髪に関する校則の見直しは行っているのか。
- 学 校 昨年、校則全体を見直し、ホームページでも公開している。頭髪については、「端正であること」とあるのみで、人権を侵害するような校則はない。
- 意見6 新型コロナ感染症の影響で、修学旅行はどうなったのか。
- 学 校 現2年生については、令和2年6月実施から令和3年3月実施に延期し、日帰り研修旅行に計画を変更した。現在の状況で実施できるのかは、不透明である。
- 学 校 現1年生についても、当初は令和3年6月実施の計画であったが、令和3年9月実施に変更したところである。
- 意見7 現1年生の修学旅行の行先は、沖縄や与論島からの変更はないか。

学 校 現時点では沖縄と与論島を考えている。今後の状況により行先の変更もありえる。

### (3) スクールポリシーについて

意見1 「荒野を拓く探究人」は抽象的な表現であり、今の段階ではコメントすることが難しい。どのような場面でスクールポリシーを発揮するのか、具体的にしてほしい。

意見2 大学入学試験に対する学力とスクールポリシーをしっかりと両立できるか疑問だが、その点は問題ないのか。

学 校 スクールポリシーは本校の教育の土台となる考え方であり、授業評価とポリシーが連動するように配慮したい。また、生徒の実態に応じて、学習の充実が測れるようにしたい。

学 校 スクールポリシーについては、カリキュラムポリシー（教育課程の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）を含めて検討し、本校への入学を志望する生徒にも示していきたい。

学 校 スクールポリシーの実現には、人間的な成長と大学進学という二兎を追う面があるが、バランスを取りながら両立させたい。大学入学試験においても、これからの社会で求められる力を重視する方向で改革が進んでおり、同じ方向に向かっていると考えている。

学 校 次年度より県内全ての県立学校に学校運営協議会が設置され、学校運営の方針について協議会の承認が必要になる。学校運営協議会の設置については、改めて委員への就任をお願いしていきたいと思っている。スクールポリシー及び校則については、次年度改めて協議会のテーマとしてご説明の機会をいただきたい。

## 6 会議のまとめ

第2回学校評議員会では、授業参観後、学校側から自己評価について及び生徒と保護者のアンケート結果について、また今年度策定したスクールポリシーについて説明し、本校の教育活動に対するご意見、ご提言をいただいた。概ね、学校の取組についてはよいご意見をいただけた。

いただいたご意見を真摯に受け止め、生徒や保護者の期待に応える魅力ある学校づくりに邁進していきたい。